


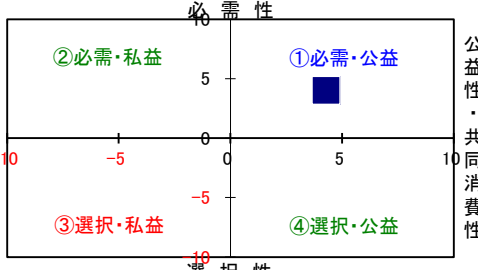
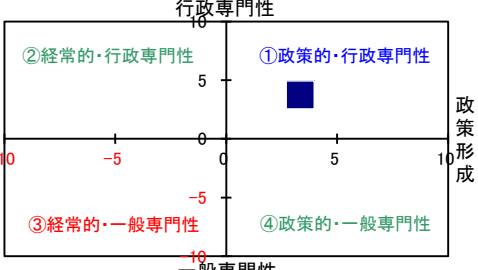
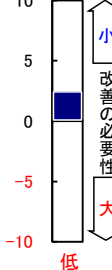
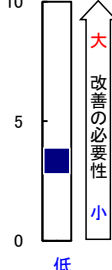
事前評価日	平成28年5月23日	No.	6032 01
-------	------------	-----	---------

基 本 事 項	事務事業名	給配水管維持管理事業			所管部署名	水道課 施設係				
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	59歳	事前評価責任者	増田 典道	連絡先	048 - 982 - 7711		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	水道法					
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	一部委託 設計・工事等				
	基 本 的 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	歳 出 予 算 科 目	事業名	配水改良費			
		まちづくり目標	うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			会計区分	水道企業会計			
		施策	暮らしを支える上水道の充実			款 項	資本的支出	建設改良費		
		施策小項目	水道施設の整備			目	配水改良費			
	第3期実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	前年度の事務事業 有無・事務事業番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	603201			
	個別計画の 位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	手 段 (どのような事業 を行うのか)	・老朽化した水道管の布設替を実施する。 ・迅速に漏水修繕工事が実施できる体制を整える。					
対 象 (誰を、何を)	(直接の対応) 老朽化した水道管 (最終的な対象) 水道水を利用する市民			事 務 事 業 を 取 巻 く 環 境 の 変 化 ・ 実 施 上 の 課 題	施設の耐震化や老朽管の更新、給水不良地区の解消等、財政的な負担の多い事業が必要となっており、更なる効率的な事業運営が求められている。					
意 図 (対象にどのよ うな状態に なってほしい のか)	・災害に強い水道を構築する。 ・安心・安全な水道水を安定的に供給する。									
類 似 事 業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無								
業 務 プ ロ セ ス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	60320301	配水管布設工事	60320302	石綿管布設替え工事				

区分	区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	125,444	205,708	233,245	226,800	21,092	162,156	201,882	
	② 人件費	40,382	37,681	37,380	44,973	7,292	44,973	44,973	
		正職員直接投入人員	4.48人	3.87人	3.87人	4.54人	0.67人	4.54人	4.54人
		正職員間接投入人員	0.41人	0.77人	0.77人	0.91人	0.14人	0.91人	0.91人
	③ 間接経費(加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	165,826	243,389	270,625	271,773	28,384	207,129	246,855		
資 源	⑥ 国庫支出金								
	国補助率								
	⑦ 県支出金								
	県補助率								
	⑧ 市債								
⑨ その他	23,510	27,961	12,234	11,189	-16,772	24,151	11,189		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	40,612	43,909	45,638	43,407	-502	41,733	43,407		
	受益者負担率(⑩÷⑤)	24.49%	18.04%	16.86%	15.97%	-2.07%	20.15%	17.58%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	101,704	171,519	212,753	217,177	45,658	141,245	192,259	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 計画配水管延長	m	333,871.00	334,436.00	335,333.00	335,533.00	335,733.00
	配水管延長		333,871.00	334,313.00	334,637.00		
②	計画給水人口	人	69,184	71,340	72,143	73,550	74,919
	給水人口		70,358	71,168	71,770		
活 動 指 標	① 計画石綿管延長	m	32,072.00	30,345.00	28,959.00	27,764.00	26,302.00
	石綿管延長		32,072.00	30,577.00	28,996.00		
②	計画耐震管延長	m	126,013.00	128,305.00	130,588.00	131,983.00	132,183.00
	耐震管延長		126,013.00	127,950.00	129,789.00		
成 果 指 標	③ 漏水修繕即日完了率	%	-	61.00	61.00	63.00	65.00
	依頼後1日で修繕を完了した件数/年間漏水発生件数		52.63	53.54	72.92		
①	石綿管割合	%	9.70	9.10	8.60	8.30	7.80
	石綿管延長/配水管延長		9.60	9.20	8.66		
②	耐震管割合	%	37.70	38.40	39.00	39.30	39.37
	耐震管延長/配水管延長		37.80	38.30	38.79		

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果・効率性向上度のポジション										
		目標達成度	活動結果	① 計画石綿管延長	100.00%	99.24%		99.87%									
成果結果	① 石綿管割合	101.03%	98.90%	99.30%													
効率性	結果	① 計画石綿管延長	7,960	9,373	↓												
結果	① 計画石綿管延長	17.75%	コストが増加している														
主	な	1 老朽管である石綿管の布設替えの実施に伴い、配水管はダクタイル鑄鉄管を、給水管はステンレス管を利用して耐震化を向上させている。 H28年度末ダクタイル鑄鉄管布設状況 単位:m															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>継手別</th> <th>S型</th> <th>KF型</th> <th>SII型</th> <th>NS型</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長</td> <td>4,200</td> <td>872</td> <td>5,747</td> <td>118,970</td> <td>129,789</td> </tr> </tbody> </table>						継手別	S型	KF型	SII型	NS型	計	延長	4,200	872	5,747
継手別	S型	KF型	SII型	NS型	計												
延長	4,200	872	5,747	118,970	129,789												
取	組	2 事業費の内訳構成が配水管の新設事業費よりも、老朽管である石綿管の布設替え事業が多くなっている。 H28年度末石綿管種別残延長 単位:m															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>ACP</th> <th>SACP</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残延長</td> <td>26,217</td> <td>2,779</td> <td>28,996</td> </tr> </tbody> </table>						種類	ACP	SACP	計	残延長	26,217	2,779	28,996		
種類	ACP	SACP	計														
残延長	26,217	2,779	28,996														

官	公共性		実施主体の妥当性		行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	民	より多くの市民に提供され、しかも日常生活に必要な不可欠なサービス	政策的意思決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス	高		
役						
割	必需性		行政専門性		高	高
分	私益性・個人消費性		政策形成		改善の必要性	改善の必要性
担	① 必需・公益		① 政策的・行政専門性		高	高
評	② 必需・私益		② 経常的・行政専門性		改善の必要性	改善の必要性
価	③ 選択・私益		③ 経常的・一般専門性		低	低
	④ 選択・公益		④ 政策的・一般専門性		低	低

事	業	区分	評価		評価判断理由(特記事項)
			妥当性	役割分担	
有効性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討		
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討		
価	効率性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<ul style="list-style-type: none"> ライフラインである配水管の布設替を進めることで、市民の安全性などの成果向上の余地があるものと判断する。 市民が安心・安全な水道水の供給を受けられるようになることから、上位施策への貢献度も高いと判断する。
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
		コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化事業で使用される配水管の材料は限定されており、材料や工法等のコスト改善は既に進めてきていることからコスト改善の余地は少ない。 加入者分担金や使用料等の規定は給水条例で定めており、これ以上の受益者負担はないものと判断する。
		受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	

改	善	これまでの改善(検討)状況とその内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善実施済	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 改善未実施
		課題と今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 埋め戻し材量等に使用する砂や碎石等は再生材を使用するなど、すでにコスト改善を図ってきた。 また、施工単価が高くても、資産の耐用年数を考えたコスト比較で対応を進めている。 道路管理者の事業と調整し、経費削減と併せて、繰り返し掘削等の抑制効果を図るなど、効果的な事業の推進を図っている。 水道事業における事業計画の中で、石綿管の布設替え事業は、財政的な負担も大きいことから、施設整備と併せて計画的な事業の推進を図る必要がある。 		

事	業	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 改善のうえで継続	<input type="checkbox"/> 他の事業に統合	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 終了・完了
		「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
		「今後の方針」の説明(計画内容等)	・効率的かつ経済的に進めるために適切な口径を選定するダウンサイジング等を踏まえた更新計画を検討する。				

一次評価日	平成29年5月19日	一次評価責任者	山口 剛介
-------	------------	---------	-------

二	次	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 改善のうえで継続	<input type="checkbox"/> 他の事業に統合	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 終了・完了
		「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
		説明	(一次評価者と二次評価者が同一のため、評価は同じになります。)				

二次評価日	平成29年5月19日
-------	------------